

水のすがた

水のすがた

水は、温度によって、すがたをかえます。水を冷やしていくと、〇度でこおり始め、かたい氷になります。氷のように、形のきまったすがたを「**固体**」といいます。

反対に、水を熱していくと、やがて百度近くで、ぶくぶくとあわを出してふつとうします。このとき、水は目に見えない水蒸気すいじょうきになって、空気の中へ出ていきま

す。水蒸気は目に見えませんが、やかんの口から出る白いゆげは、水蒸気すいじょうきが冷やされて、小さな水のつぶにもどったものです。水蒸気すいじょうきのようすがたを「**気体**」とい

います。そして、ふつうの水のように、流れるすがたを「**液体**」えきたいといいます。

おもしろいことに、水は氷になると、かさがふえます。ペットボトルに水を入れたままこらせると、ふくらんでしまうのは、そのためです。

このように、水は、**固体**、**液体**、**気体**と、温度によって、三つのすがたにかわるのです。

1 水がこおり始めるのは、何度ですか。

度

2 水を熱したときに出ていく、目に見えないものは何ですか。

3 水が氷になると、かさはどうなりますか。

ア へる。

イ ふえる。

ウ かわらない。

4 水の三つのすがたのうち、氷はどれですか。

ア 固体

イ 液体えきたい

ウ 気体